

## 本時のねらい

自分の興味のある職業を調べ、スライドにまとめ発表することによって、将来働く姿を想像したり、探究したりする力をつける。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・将来の仕事に対する具体的なイメージを持つために、まず職業に関する適性検査型の進路学習サイトを利用して、興味・関心を引き出す。
- ・一人一台のタブレット PC を用いて自分の興味のある職業を調べることで、情報を集める力とまとめる力を養う。
- ・プレゼンテーションソフトとプロジェクターを使って、生徒全員に発表をさせることで、プレゼンテーション力を養う。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクター
- ・適性検査型の進路学習 Web サイト
- ・授業支援ソフト（Google Classroom）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○職業に関する適性検査型の進路学習 Web サイトを利用して、自分の将来の職業選択のヒントを探す。	・じっくりとたくさんの選択肢から選ぶパターンと、ある程度絞った選択肢から選ぶパターンの2つのコースから選択させる。 ・自分の結果から派生する情報を進路学習サイト上で検索するように指導する。
展開 (18分)	○自分の伝えたいことが伝わるよう工夫し、他者が見たときにわかりやすいスライドを、個人で練り上げる。	・授業支援ソフト（Google Classroom）を利用して、スライドのテンプレートを全員に配付する。 ・事前に見本のスライドを作成し、情報活用のヒントを示しておく。 ・インターネット検索の方法を説明し、有益な情報を得ることへのサポートを行う。 ・スライド作成に際しては、文字の大きさや、配色、アニメーション効果、時間配分などを工夫し、効果的なプレゼンテーションを行えるように指導する。
発表 (25分)	○全員が、クラスの全体に向けて発表する。 ○発表を聞きながら、要点のメモを記入する。	・プロジェクターを用いてスライドを映し出し、全体に共有する。
まとめ (2分)	○一番印象に残ったプレゼンテーションを選び、その理由を考え、聞き取りメモに記入する。	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 進路学習サイトを利用し、自分の将来の職業選択のヒントを探す場面



写真2 個人でスライドを作成している場面



写真3 作成したスライドを、プロジェクターを用いて黒板に映しだし、全体に向けてプレゼンテーションを行っている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・タブレット PC を活用して、自ら興味・関心のある職業について調べたので、意欲的に学習に取り組むことができていた。
- ・スライドを提示してプレゼンテーションを行うことで、生徒から「中学生の今からしないといけなことが明確に分かる発表を聞いてよかった。」「自分が全く知らない仕事のことを詳しく知ることができてよかった。」という声を聞くことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1 人 1 台タブレット PC を活用し、自分の興味・関心を最大限に発揮してまとめたスライドは、良い教材になり、生徒の成長しあう姿が印象的だった。
- ・一人ひとりが全員の前で発表することで、将来必要な情報活用能力やプレゼンテーション能力の向上につながった。